
2013年度
第2四半期決算及び通期業績見通し
説明資料



星光PMC株式会社（東証1部 4963）
2013年11月21日



目次

◇ I. 事業内容、当期の事業環境	P2～4
◇ II. 2013年度 第2四半期決算	P5～8
◇ III. 2013年度 通期業績見通し	P9～10
◇ IV. 事業別動向	P11～12
◇ V. 経営戦略	P13～20

<予想に関する注意事項>

本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。
当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。
ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。
本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。



➤ 製紙用薬品事業

サイズ剤
紙力増強剤
印刷適性向上剤
製紙用補助薬品



紙 新聞用紙
印刷・情報用紙
家庭紙 他

板紙 段ボール原紙
紙器用紙 他



➤ 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂

オフセットインキ
グラビアインキ
新聞インキ
フレキソインキ

記録材料用樹脂



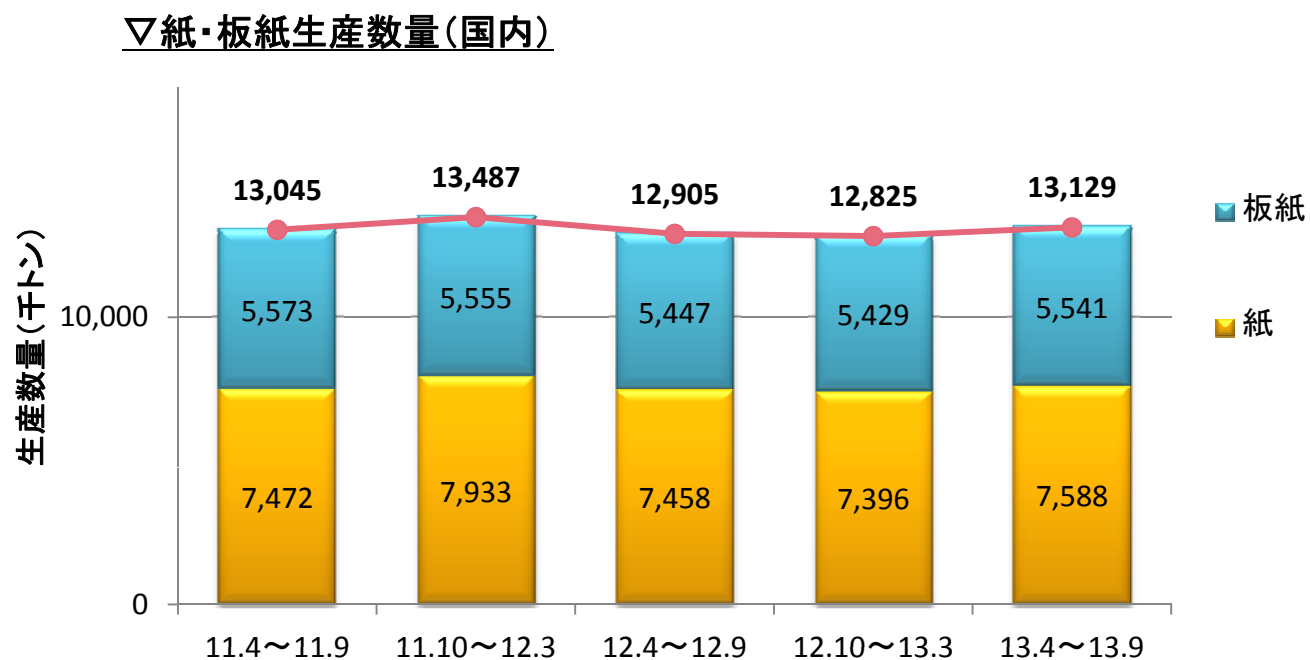
トナー



I. 事業内容、当期の事業環境



➤ 2013年度第2四半期の国内紙・板紙生産量は前年比+1.7%の増加



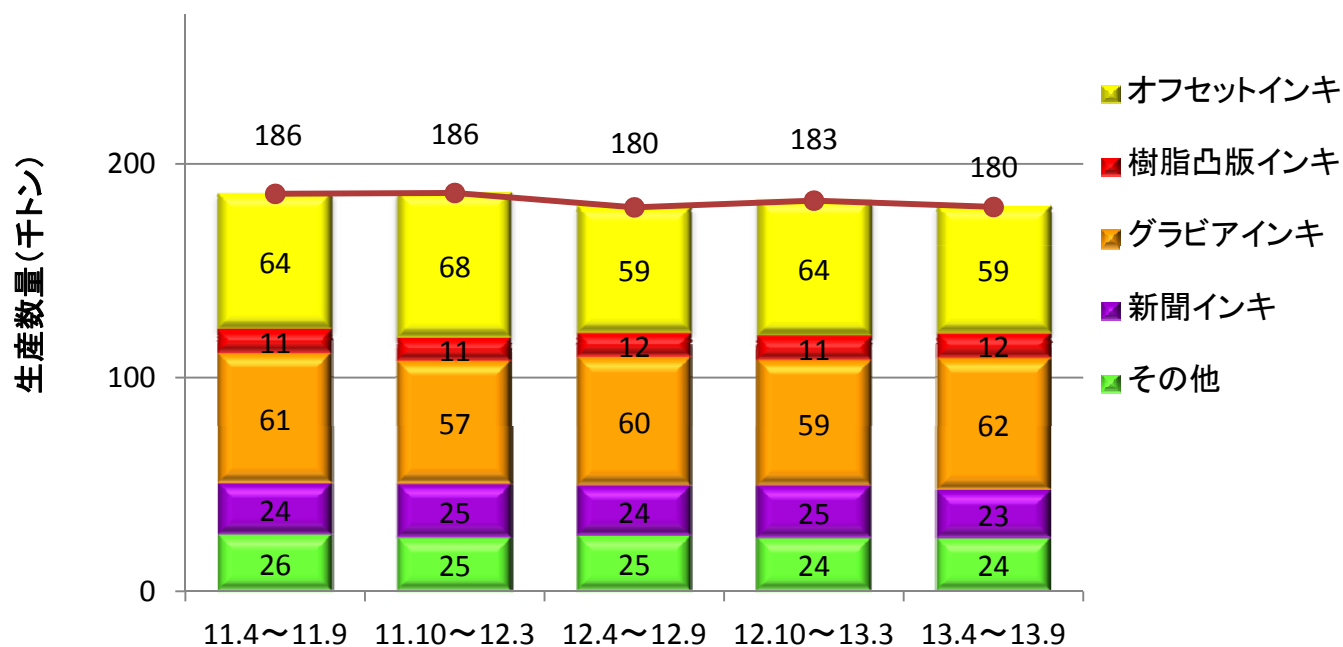
(出典: 経済産業省生産動態統計)

I. 事業内容、当期の事業環境



➤ 2013年度第2四半期の国内印刷インキ生産量は前年比+0.1%とほぼ横ばい

▽各種印刷インキ生産量(国内)



(出典: 経済産業省生産動態統計)

Ⅱ. 2013年度 第2四半期決算

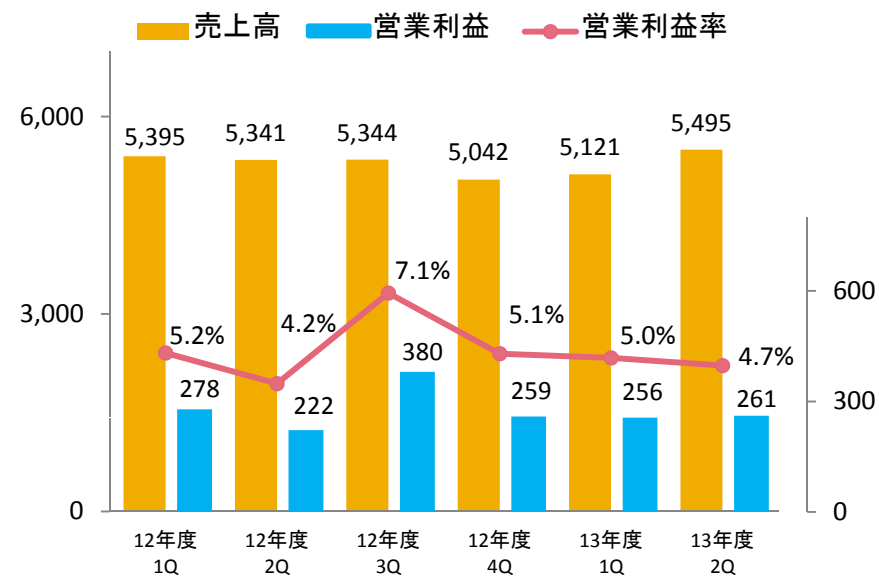


(1) 決算の概況(連結)

(百万円)	前期	今期		前年同期比	
	実績	期初 予想	実績	増減	増減率
売上高	10,736	11,140	10,616	-120	-1.1%
営業利益	500	450	517	+17	+3.4%
営業利益率	4.7%	4.0%	4.9%	-	-
経常利益	525	490	672	* +147	+27.9%
経常利益率	4.9%	4.4%	6.3%	-	-
当期純利益	334	270	458	+124	+37.0%
減価償却費	415	416	401	-14	-3.4%
設備投資	252	396	426	+174	+69.0%
研究開発費 (対売上高比率)	768 (7.2%)	820 (7.4%)	776 (7.3%)	+8	+1.0%

*営業外収益として118百万円の為替差益が発生

国内需要業界の設備統廃合、欧州景気の立ち直りの遅れ等の厳しい経営環境の中、差別化商品を投入し売上増加に努めたものの、売上高は前期比1.1%減となった。利益面においては収益改善策の実施・コスト削減等に努めた結果、営業利益は同3.4%増加した。

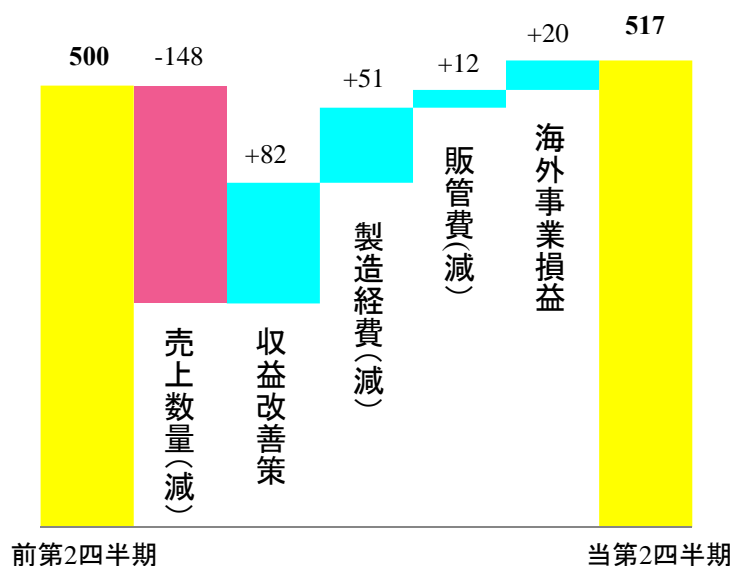


Ⅱ. 2013年度 第2四半期決算



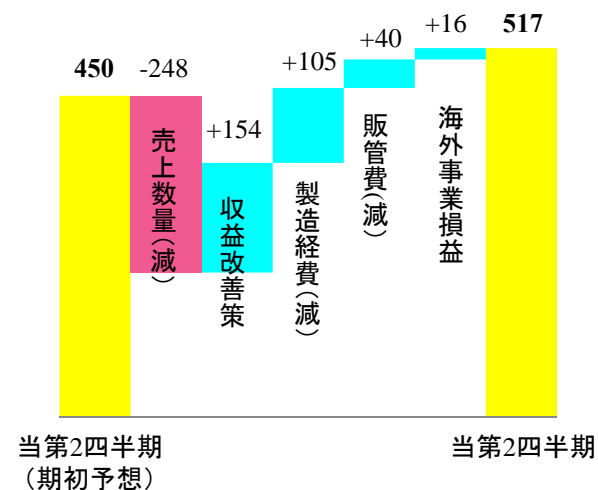
(2) 営業利益増減内訳

- 前第2四半期 → 当第2四半期
500 → 517百万円
(+17百万円 +3.4%)



(ご参考)

- 当第2四半期 (期初予想) → 当第2四半期 (実績)
450 → 517百万円
(+67百万円 +14.9%)



販売数量の減少に伴う利益減(-148百万円)を、高収益製品への販売構成のシフト等の収益改善策(+82百万円)、製造経費・販管費の削減等でカバーし、営業利益は517百万円と前期比17百万円の増加。

Ⅱ. 2013年度 第2四半期決算



(1) 連結貸借対照表

(百万円) 科 目	前期末	今期 第2四半期	前年 同期比
現金・預金	532	529	-3
受取手形・売掛金	9,167	8,348	-819
たな卸資産	3,251	2,985	-266
短期貸付金	3,851	4,865	+1,014
その他の流動資産	260	331	+71
流動資産 合計	17,061	17,058	-3
有形固定資産	8,579	8,713	+134
無形固定資産	100	80	-20
投資その他の資産	950	1,027	+77
固定資産 合計	9,629	9,820	+191
資産合計	26,690	26,878	+188

科 目	前期末	今期 第2四半期	前年 同期比
支払手形・買掛金	3,608	3,352	-256
短期借入金	1,100	1,100	±0
その他流動負債	1,749	1,761	+12
流動負債 合計	6,457	6,213	-244
退職給付引当金	205	140	-65
その他の固定負債	168	182	+14
固定負債合計	373	322	-51
負債合計	6,830	6,535	-295
株主資本:			
資本金	2,000	2,000	±0
資本剰余金	1,566	1,566	±0
利益剰余金	16,312	16,589	+277
自己株式	-104	-104	±0
その他包括利益累計額:			
為替換算調整勘定	-44	94	+138
その他	130	198	+68
純資産合計	19,860	20,343	+483
負債及び純資産合計	26,690	26,878	+188

Ⅱ. 2013年度 第2四半期決算



(2) 連結損益計算書及び、連結キャッシュフロー

(百万円) 科 目	前期 第2四半期	今期 第2四半期	前年 同期比
売上高	10,736	10,616	-120
売上原価	8,361	8,190	-171
売上総利益	2,374	2,426	+52
販売管理費	1,873	1,909	+36
営業利益	500	517	+17
金融支出	5	18	+13
為替差益	-14	118	+132
その他	34	19	-15
経常利益	525	672	+147
特別利益	4	0	-4
特別損失	0	55	+55
税金等調整前 四半期純利益	529	617	+89
法人税等	194	159	-35
四半期純利益	334	458	+124

		前期 第2四半期	今期 第2四半期
営業活動による キャッシュ・ フロー	税金等調整前四半期純利益	529	617
	減価償却費	415	400
	法人税等の支払額	-216	-204
	運転資本の増減額	389	818
	その他	97	-200
	計	1,215	1,431
投資活動による キャッシュ・ フロー	有形固定資産の取得による支出	-218	-273
	無形固定資産の取得による支出	-4	-1
	有形・無形固定資産の売却による収入	4	1
	投資有価証券の取得による支出	-31	-2
	その他	-760	-1,013
	計	-1,009	-1,288
財務活動による キャッシュ・ フロー	配当金の支払額	-227	-182
	その他	-1	-1
	計	-228	-183
現金および現金等価物に関わる換算差額		2	36
現金および現金等価物の増減額		-20	-3
現金および現金等価物の期首残高		427	531
現金および現金等価物の期末残高		407	528

Ⅲ. 2013年度 通期業績見通し



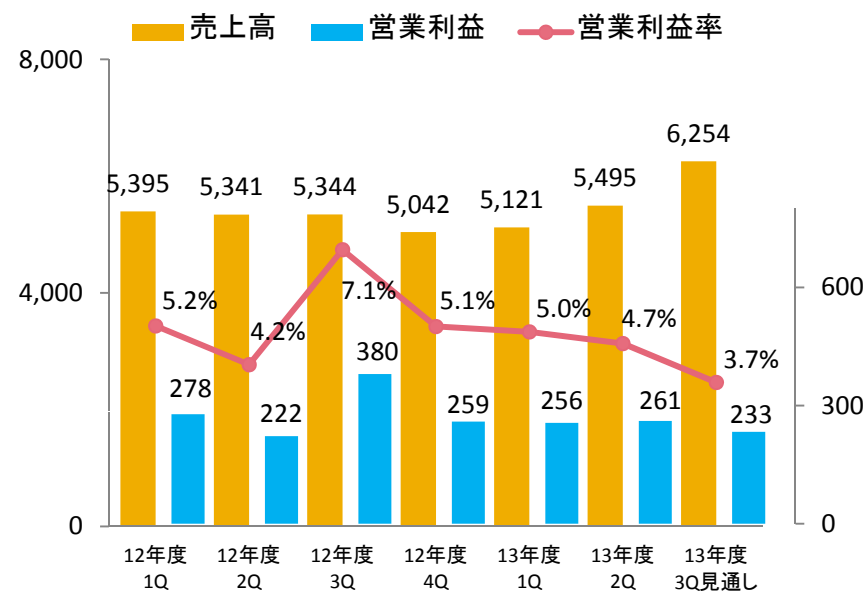
(1) 決算の概況(連結)

(百万円)	前期	今期 (見通し※1)		前年同期比	
	4-12月	期初予想	最新予想	増減 ※2	増減率 ※2
売上高	16,080	17,970	16,870	+790	+4.9%
営業利益	880	900	750	-130	-14.9%
営業利益率	5.5%	5.0%	4.4%	-	-
経常利益	930	960	960	+30	+3.2%
経常利益率	5.8%	5.3%	5.7%	-	-
当期純利益	572	590	590	+18	+3.0%
減価償却費	633	662	600	-33	-5.2%
設備投資	333	798	700	+367	+110.2%
研究開発費 (対売上高比率)	1,155 (7.2%)	1,240 (6.9%)	1,200 (7.1%)	+45	+3.9%

※1. 決算期変更に伴い、当社は2013年4月1日から2013年12月31日までの9ヶ月間、12月決算の子会社は従来通り12ヶ月間を連結対象期間としております。

※2. 2012年4月1日から2012年12月31日の9ヶ月間と比較した増減、増減率を表しております。

収益改善策の実施・コスト削減等により利益確保に努めるものの、国内の販売減に加え、中国ガムロジン・石油化学品等の原材料価格上昇の影響により、前年同期(2012年4-12月)比-14.9%減の営業利益750百万円を見込む。



Ⅲ. 2013年度 通期業績見通し

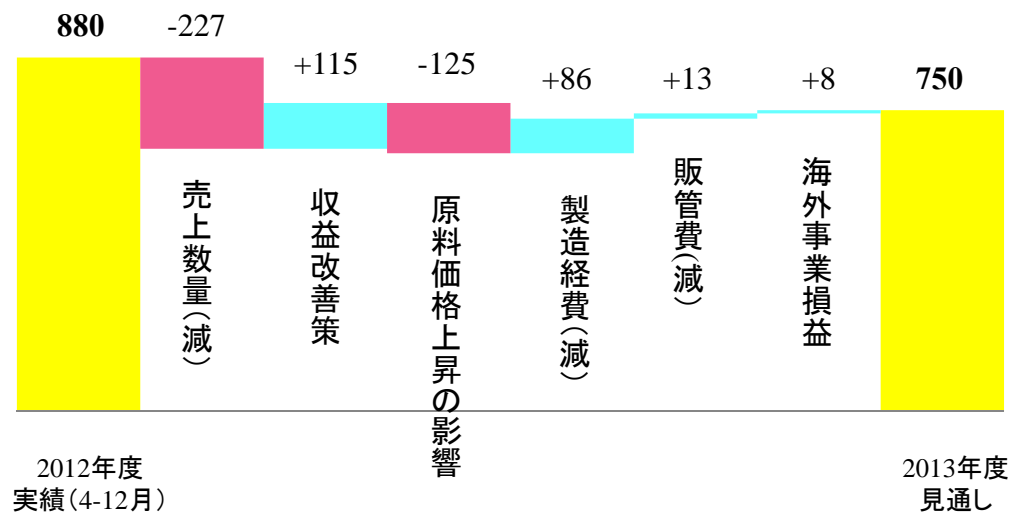


(2) 営業利益増減内訳

・ 2012年度実績(※) → 2013年度見通し

※2012年4月～12月の9ヶ月

880 → 750百万円 (-130百万円 -14.9%)



高付加価値製品へのシフトによる収益改善策の実施(+115百万円)、コスト(経費)削減(+99百万円)を推し進めるものの、国内の数量ベースでの実質販売減(-227百万円)と原料価格上昇に伴う利益押し下げ要因(-125百万円)の影響を受け減益を見込む。

IV. 事業別動向（製紙用薬品事業）



(百万円)		2012年度 第2四半期 実績	2013年度 第2四半期 実績	増減	増減率
売上高	国内	7,048	6,840	-208	-3.0%
	海外	724	756	+32	+4.4%
	調整	-27	-67	-40	-
	合計	7,745	7,529	-216	-2.8%
営業利益	国内	466	426	-40	-8.6%
	海外	-60	-40	+20	-
	調整	-10	-4	+6	-
	合計	396	382	-14	-3.4%

	2012年度 (4-12月)	2013年度 見通し	増減	増減率
	10,495	10,552	+57	+0.5%
(注) 1,019	(注) 1,768	+749	+73.5%	
	-54	-67	-13	-
	11,460	12,253	+793	+6.9%
	769	649	-120	-15.6%
	-72	-64	+8	-
	-12	-4	+8	-
	685	581	-104	-15.2%

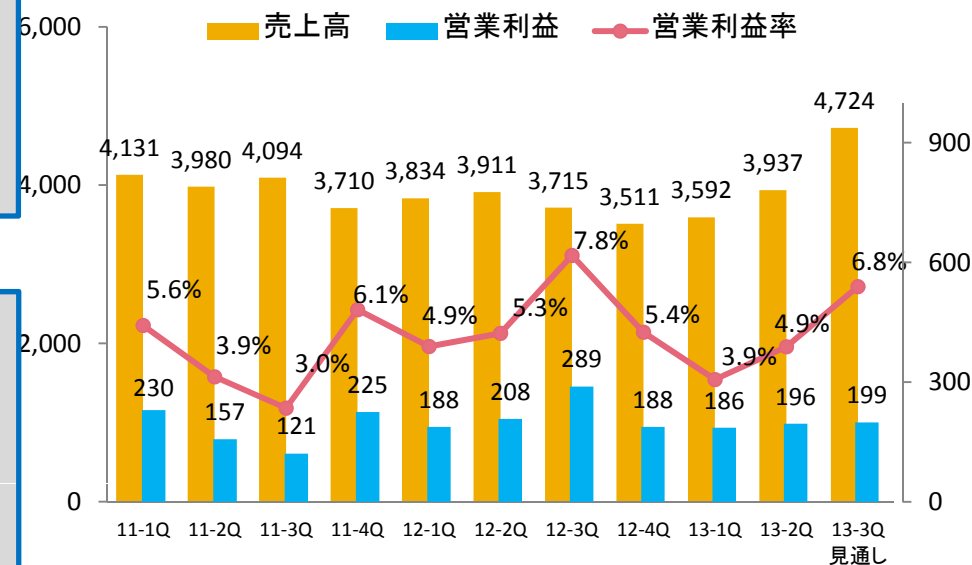
上期ハイライト

- ◆売上高: 紙・板紙の国内生産が堅調に推移する中、差別化商品の投入で売上増加を図ったがユーザーの設備統廃合の影響で2.8%の減収。
- ◆営業利益: 収益改善策、コスト削減に取り組んだものの売上減少により減益。

下期見通し

- ◆売上高: 堅調な国内紙・板紙の生産状況のもと、ソリューションの提供を通じた差別化で売上増を図る。
- ◆営業利益: 製紙業界の操作性向上、品質安定化、省資源に寄与する薬品システムの提供による拡販を進めるものの、原料価格の高騰により減益。

(注) 海外については、2012年度は1-9月の9ヵ月分、2013年度見通しは1-12月の12ヵ月分を合算(12ヵ月ベースの比較では+426百万円、+31.7%の見込み)



IV. 事業別動向（樹脂事業）



(百万円)	2012年度 第2四半期 実績	2013年度 第2四半期 実績	増減	増減率
売上高	2,991	3,086	+95	+3.2%
営業利益	104	134	+30	+29.1%

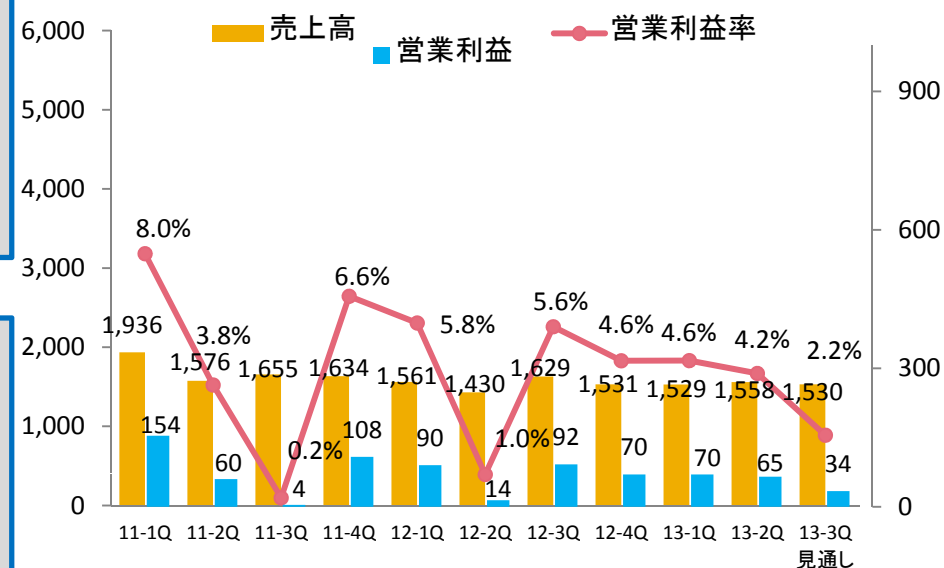
	2012年度 (4-12月)	2013年度 見通し	増減	増減率
売上高	4,620	4,617	-3	-0.1%
営業利益	196	169	-27	-13.8%

上期ハイライト

- ◆売上高: 欧州を中心とした事務機器需要減退に伴い記録材料用樹脂の販売は減少したものの、オフセットインキ用樹脂、水性インク用樹脂が堅調に推移し増収。
- ◆営業利益: 収益改善策の実施、コスト削減策により増益。

下期見通し

- ◆売上高: 記録材料用樹脂の販売回復の遅れに対し、新規分野への高付加価値製品の投入で売上確保を目指す。
- ◆営業利益: 販売の伸び悩みに加え、原料価格の高騰により減益。





- 当社は、設立50周年にあたる2018年に
連結売上高350億円、営業利益率10%
を達成することを目標として設定
 - 地域・分野双方での事業領域の拡大と、柔軟で筋肉質な企業体質への変化を志向

- 「CS VISION – I」(2012年度～2014年度)は、上記の
目標達成へ向けた第1ステージの位置づけ
 - 「CS VISION」: お客様へのChemical Solutionの提供により、
Customer Satisfactionを実現し、お客様と社会への貢献を
通じてCorporate Sustainability を確固たるものにしていく、
という思い

- 「住みよい社会、豊かな未来の創造に貢献する」という当社の
経営理念



～ **会社も生き生き、社会も生き生き** ～



➤ 選択と集中

- 当社の強みが活きる成長分野・製品への資源の重点配分

➤ 事業領域の拡大

- 地域～中国・東南アジアを中心とした成長市場への業務展開の加速
- 業務分野～エレクトロニクス関連材料、再生可能な環境材料に重点を置いた新規業務分野の開発・事業化

➤ 外部資源の活用

- 強みを補完する提携、事業領域の拡大を加速する企業買収の推進

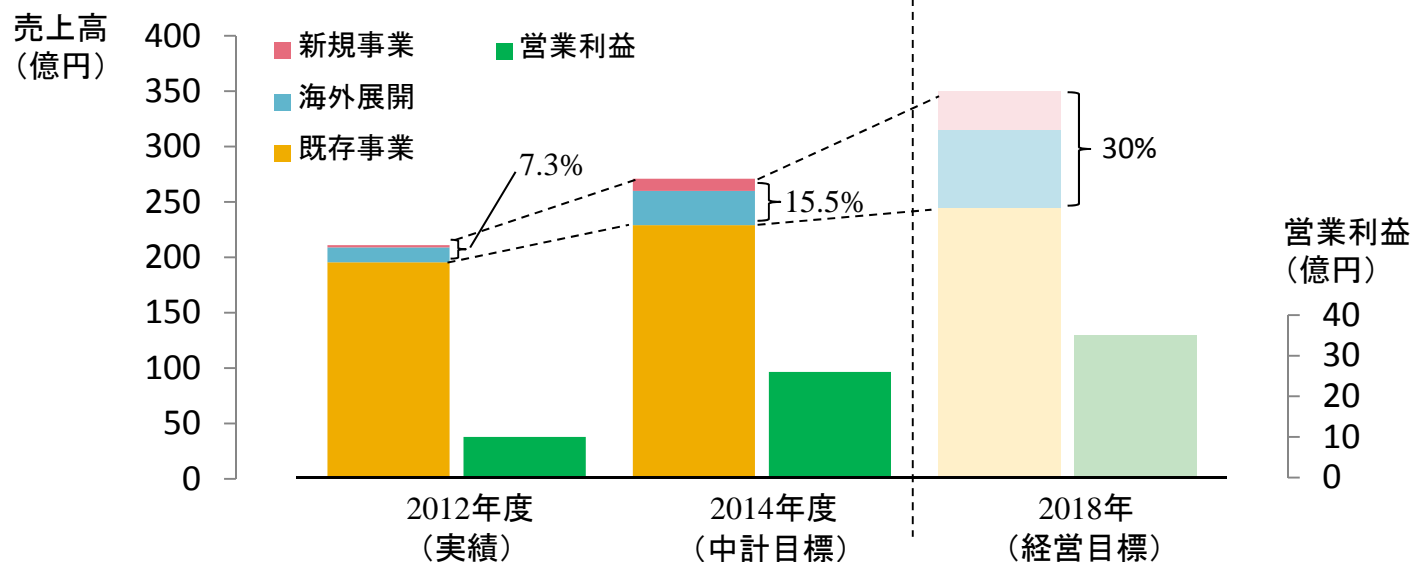
➤ 筋肉質の企業体質へ

- 選択と集中、新たな業務分野への進出に伴う生産体制の統合・再編等を通じた柔軟で筋肉質の企業体質への変換
- グローバル環境下での人材基盤強化に資する人事施策の推進

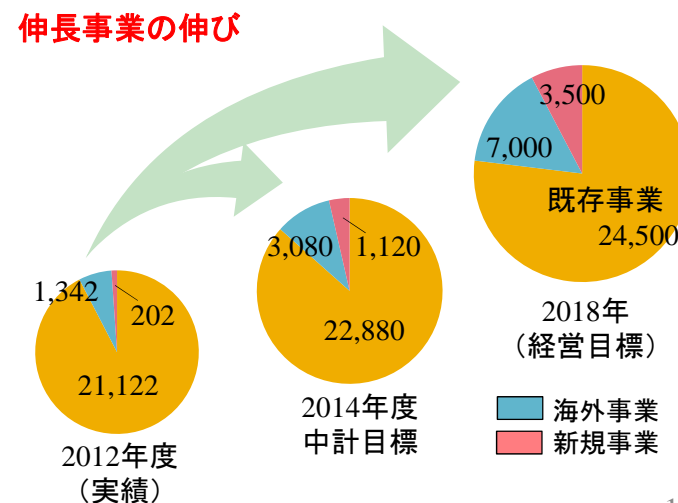
V. 経営戦略 (2) 数値目標



➤ 成長市場への進出・新規分野開拓を中期的成長のドライバーに



	2012年度 (実績)	2014年度 (中計目標)	2018年 (経営目標)
売上高(百万円)	21,122	27,080	35,000
既存事業	19,578	22,880	24,500
海外事業	1,342	3,080	7,000
新規事業	202	1,120	3,500
合計("伸長事業")	1,544	4,200	10,500
営業利益(百万円)	1,139	2,620	3,500
営業利益率	5.4%	9.7%	10.0%





- 成熟した国内市場において、顧客のニーズを的確に捉えるソリューションの提供を軸に事業基盤を強化し、培った技術を持って海外展開を加速
 - 操業性向上、品質安定化、省資源に向けたソリューション提供
 - ✓板紙アルカリ抄紙システムの推進
 - ✓紙、板紙の軽量化、高灰分化に適合したシステムの開発
 - ✓紙力剤、サイズ剤等各種の基盤となる薬品の高性能化
 - ✓ロジンサイズ剤からASAサイジングシステムへの置換
 - 中国での拡販、東南アジア(タイ、ベトナム等)での市場開拓



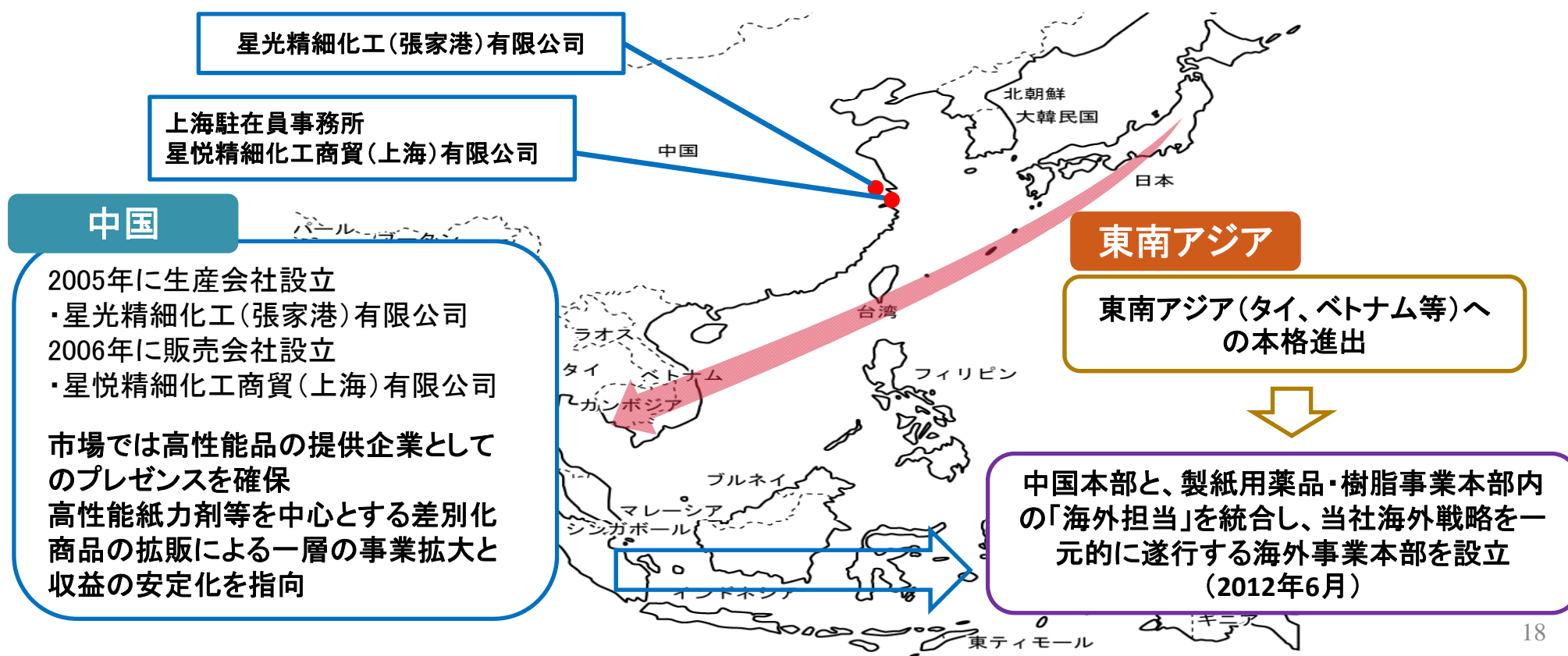
- 水性化、VOC低減に資する環境に優しい高付加価値製品の投入等による製品ポートフォリオの組替え
 - オフセットインキ用樹脂
 - ✓ユーザーニーズに即した環境対応・高性能製品の開発
 - グラビア・フレキシインキ用樹脂
 - ✓水性グラビア・フレキシインキ用樹脂の国内外への拡販
 - 記録材料用樹脂
 - ✓各種トナーの高性能化に寄与する部材の開発、拡販
 - 樹脂技術の応用展開
 - ✓シーラー用エマルジョン、耐油コート剤用エマルジョン等の拡販

V. 経営戦略 (5) 事業領域の拡大-海外展開の加速



➤ 既存事業の地域的な拡大

- 成長著しい中国・東南アジア市場での展開
 - ✓ 既に製紙用薬品・樹脂市場が形成されている中国における高性能、差別化商品の拡販
 - ✓ 今後、市場の形成が見込まれる東南アジア地域へのアプローチ
(日系顧客の進出、現地企業の製造処方の高度化)



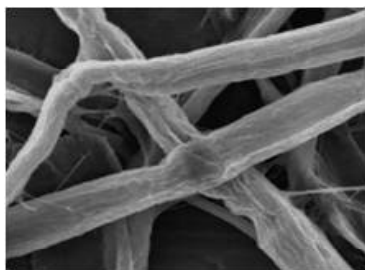
V. 経営戦略 (6) 事業領域の拡大-新規事業



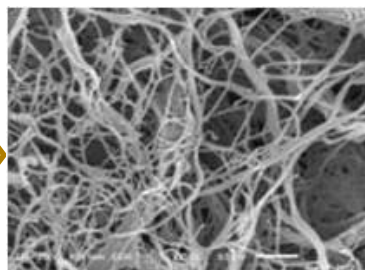
➤ セルロースナノファイバー(CNF)

再生可能資源、環境材料

NEDO・グリーンサステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発
 ~セルロースナノファイバー強化による自動車用高機能化グリーン部材の研究開発~



木材繊維(パルプ)
 繊維径: 数十 μm



CNF
 繊維径: 数十 nm



・自動車用樹脂の強度・寸法安定性向上、
 金属部材の置換



軽量化
 → 燃費向上

・家電、モバイル機器等の軽量化(部材薄肉化)

【セルロースナノファイバーの特徴】

- ・地球上で最も豊富に存在する有機物
- ・ナノサイズの直径
- ・鋼鉄の1/5の軽さ、5倍の強度
- ・ガラスの1/50の低熱膨張性

経済産業省イノベーション拠点立地推進事業
 「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に応募、
 本年2月に採択される。

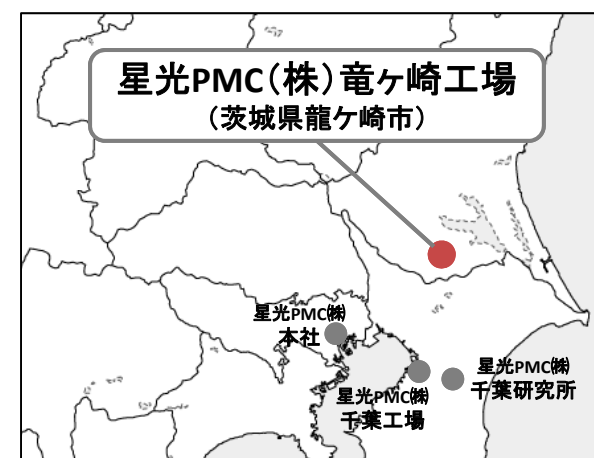
補助金を活用し当社竜ヶ崎工場にパイロットプラントを設置



2014年度よりサンプル供給開始予定



早期事業化を目指す

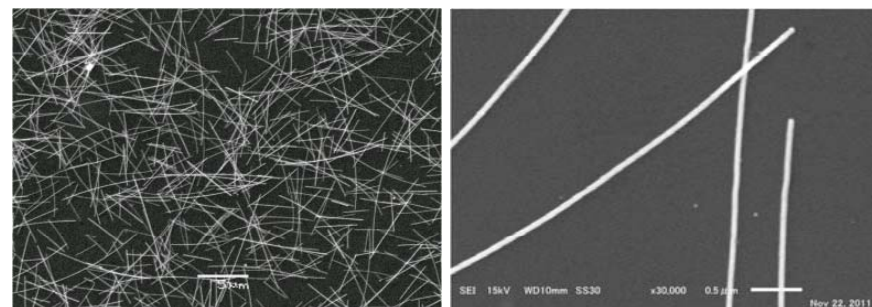


➤ 導電性ナノ材料(銀ナノワイヤ)

導電性材料

銀ナノワイヤ(AgNW)

nmサイズの直径、 μm サイズの長軸長



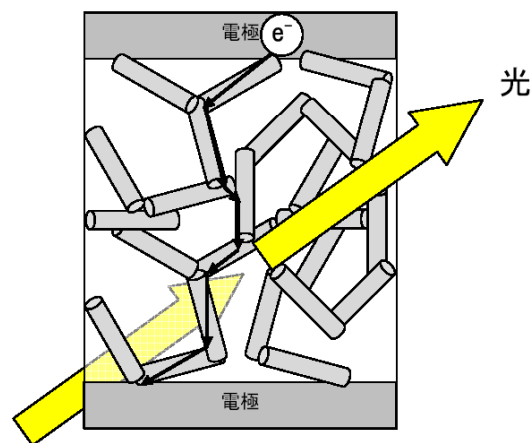
銀ナノワイヤ

銀由来の性質

- ・導電性 導電膜への適用(タッチパネル用部材等)
- ・柔軟性 フレキシブルディスプレイへの応用

ナノワイヤ由来の性質

- ・塗膜透明性 ワイヤ間の広い隙間を光が透過(ディスプレイの視認性良好)



銀ナノワイヤ透明導電膜の原理



タッチパネル



ご清聴ありがとうございました



星光PMC株式会社

～ 会社も生き生き、社会も生き生き ～